

まちの賑わい創出について(北本に大学の誘致を働き掛けることについて)

【質問要旨】人口対策の一環で、大学を誘致すれば最低でも4年間、若しくは継続的には学生が市内に滞在し、移住地の候補として検討してもらえるのではないのでしょうか？

【答弁要旨】市内への大学の誘致につきましては、実現することで主に18歳から22歳までの学生世代を呼び込むことで将来的な市内就職・定住につなげることや、学生や教職員の生活・消費活動による経済効果が見込まれる等、まちの賑わい創出につながるものと考えます。市内に大学の誘致を働き掛けるためには、立地可能な土地（12～15ヘクタール）を用意する必要があります。市街化区域に新規立地することは事実上不可能と言えるほど困難であることから、本市の開発許可制度では、市街化調整区域への大学の新規立地を認める基準を定めております。しかしながら、本市の市街化調整区域は建物の建ち並びが多いことや農地法上の制限も受けることから、大学が立地可能な規模の土地を創出するのは困難な状況であると考えます。

【総括】大きな4年制大学ではなく、短期大学若しくは各種専門学校等学生が集うところを招聘できれば、北本の風景・環境も変わっていき、交流人口・関係人口の拡大に貢献できると考えます。いろいろな側面をとらえて学園都市構想も検討の俎上に上げてください。

トピックス ～北本市の旬の話題をお届け！～

きたもとオープンガーデン2026 市内11軒の個性豊かなお庭を公開!

きたもとオープンガーデンは、お花が大好きな市民により結成された「花結会(はなゆいかい)」3日限定でお庭を公開するイベントで、今年で11回目を迎えました。毎年市内外から約2,000人～3,000人が訪れ、個性豊かなお庭や庭主との交流を楽しんでいます。開催期間: 令和8年5月8日(金)～10日(日)



詳細は北本市HPへ



今年もキンランの花が開花しました 4月中旬 北本市子供公園にて



キンランは野生ランの一種で、埼玉県レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。子供公園の雑木林は、指定管理者を中心に適切な時期に手入れを続けていることから、安定した里山環境が維持され、まとまった株数が確認される貴重な自生地となっています。今年も4月中旬時点で約100株のキンランが開花し、黄色い小さな花がけなげに顔をのぞかせていました。

その他の
山野草

ギンラン(5月上旬頃まで)、セリバヒエンソウ(4月～5月頃)、キエビネ(4月～5月頃)、ヤマユリ(7月～8月頃)など

もろかずお後援会 もろかずおの活動にご賛同いただける皆様のご寄附やご支援を受付中です。

ご寄付先口座: 埼玉りそな銀行 普通 4770093 もろかずお後援会

もろかずお事務所 所在地: 埼玉県北本市東間6-103-3 お気軽にお越しください。

